

千葉の鬼小町・佐那

千葉佐那は父・定吉母・タキの間に生まれた

天保9年(1838)

佐那も北辰一刀流を学び特に小太刀使いに長けた

その美貌から「千葉の鬼小町」「小千葉小町」などと呼ばれもした

また父と姉から薙刀術を教授され道場の剣術師範、薙刀師範となる

24歳の坂本龍馬と21歳の千葉佐那は相思相愛の仲になり

龍馬は師の定吉に佐那との結婚の許しを求めた

わかかった 結納の儀を許そう

当時の小千葉道場の門弟の中に坂本龍馬がいた

姉・梅尾 兄・重太郎 佐那 妹・里幾 幾久 はま

マンガ・武道のすすめ

日本武道以外

なぎなたと女性武道

【第三回】幕末・維新の女性剣士

田代しんたろう

江戸時代

男性中心の身分制度の中で武家の婦女子は貞淑な内助の功を求められ

女性には薙刀以外の武術からは遠ざけられるが

幕末期になり男勝りの女性剣士が登場する

北辰一刀流では流祖・千葉周作の玄武館道場が著名だったが、弟の千葉定吉も優れた剣豪で道場は玄武館の「大千葉」に対し「小千葉」と呼ばれ門弟も多かった

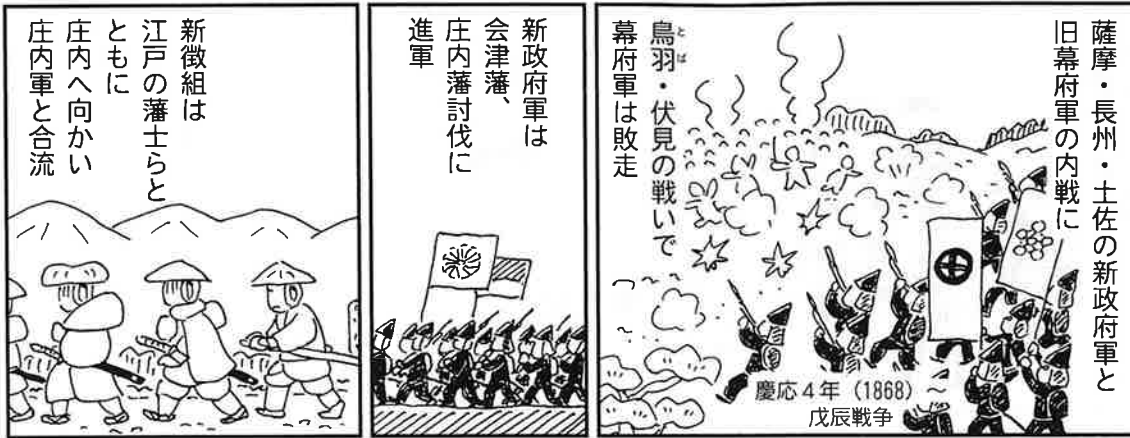
2023. 6 月刊「武道」



※1 現在の群馬県沼田市利根町

※2 幕府第14代将軍・徳川家茂





新徴組は江戸の藩士らとともに庄内へ向かい庄内軍と合流

新政府軍は会津藩、庄内藩討伐に進軍

薩摩・長州・土佐の新政府軍と旧幕府軍の内戦に鳥羽・伏見の戦いで幕府軍は敗走
慶応4年(1868) 戊辰戦争



貞祇と琴の戦いの日々も終わる



戦況は庄内藩優勢だったが同盟諸藩が屈服する状況に酒井忠篤は降伏を決断する



官軍相手に2カ月以上の戦闘を続ける
庄内戦争
明治元年(1868)7月11日~9月25日



母・こう子



中野竹子は会津藩の江戸常駐勘定役・中野平内の長女として生まれた
江戸和田倉 会津藩邸



戊辰戦争の中でも奇烈を極めたのが会津戦争だった
娘子隊の烈女・中野竹子



武術は藩士・黒河内兼規に薙刀術と短刀術を学び薙刀は免許皆伝を果たす



平内は持明院流の書道の達人でもあったが竹子を文武に秀でた藩士・赤岡大助の門下に入れて学ばせた
大助は聡明な竹子を養女に

※庄内藩に対し新政府軍総大将・西郷隆盛の措置は寛大で一度は改易するも復帰



我が浪士組の本意は尊王攘夷にあり江戸へ戻る

浪士組発起人 清河八郎



清河八郎が暗殺され
文久3年(1863)4月13日



琴り浪士組は江戸に戻るが



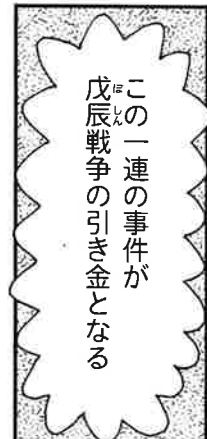
※後の新選組
不同意の近藤勇や芹沢鴨らは京都に残り壬生浪士組を結成



しかし新徴組は統制のとれない浪人集団で幕府は組を庄内藩主・酒井忠篤に預ける
庄内藩 酒井家 江戸屋敷
琴と貞祇たちは庄内藩抱えとして攘夷派を取り締まる
元治元年(1864)



浪士組は幕臣の山岡鉄舟などにより新徴組として再編
江戸の市中警護や江戸湾の海防警備に当たることに



この一連の事件が戊辰戦争の引き金となる



新徴組は日向佐土原藩邸を襲撃



庄内藩は他藩と申し合わせ江戸薩摩藩邸に出兵



薩摩・長州による幕府への挑発が激化
慶応3年(1867)



養父・大助の甥と縁談もまとまっていたが、戊辰戦争で立ち消えとなり一家は新政府軍迎撃のため会津に帰落



戦前に竹子は城下で、薙子に学問や薙刀を教えた



慶応4年(1868)8月23日
新政府軍が城下に侵入



戦火の中、竹子らは女子部隊の指揮官・照姫を捜索した後、鶴ヶ城に戻ると



籠城のためすでに閉門
ダメです



ならば城外で戦うのみ



我らにはこれがある



竹子は母・こづ子、妹・優子ら親族に薙刀を教授した女子たちも加え、娘子隊を結成



古屋殿、衝鋒隊とともに戦わせてください



ならん！会津藩は婦女子までも戦わしめたと笑いものになる



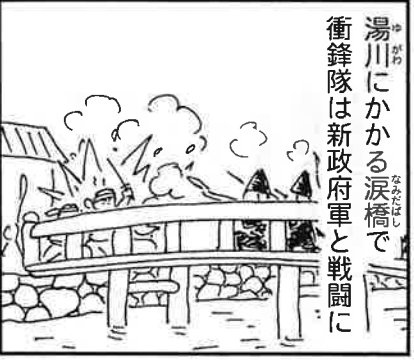
ならば我ら自害するまで
う〜ん
仕方ない

◇附記

明治維新後、千葉佐那は華族女学校舎監を務め、灸治院を開業などするが、龍馬の形見の紋付を大事に持ち、幾久の長男を養子とするが、名を「龍太」とした。明治29年(1896)千葉佐那没、享年59。 ※華族女学校→学習院女子部



中沢琴は維新後も庄内藩に身を置いたが、明治7年(1874)に兄・貞祇とともに群馬県となった故郷に戻る。琴は女性の服装に戻るが、持ち込まれる縁談には「私より強い男ならば……」実際に勝負を挑む男性も現れるが、琴に勝てる者はなく、生涯独身を貫いた。



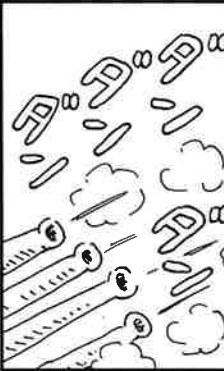
湯川にかかる涙橋で、衝鋒隊は新政府軍と戦闘に



ものゝふの猛きころにくらぶれば、数にも入らぬ我が身ながら



義を守る
会津の魂を見よ

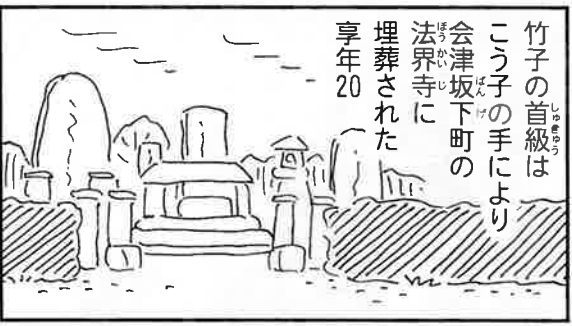


姉上！
竹子！



新政府軍の徹底的な砲撃の前に、会津藩は降伏した

明治元年(1868)9月22日



竹子の首級は、こう子の手により、会津坂下町の法界寺に埋葬された。享年20



多くの悲劇を生みながら、日本は明治という新時代に入ります。そして、武道そのものが試練の時を迎える。